



関西いのちの電話



「アゲハ蝶」東大阪市の自宅菜園にて 撮影：中村 伊三信



信念あるやさしさの存在

Human color 心理研究所 会長

関西いのちの電話 監事 大守 光子

1972年の春、「関西いのちの電話」開設準備委員会で、お茶係をさせていただいたことが、私の「聴き続ける日々」の始まりでした。開局のお手伝いをしながら、電話相談員養成講座1期生として様々にご指導をいただき、活動をスタートさせたのです。しかし、学びと経験を重ねる一方で、相談員の姿勢について自問自答する日々が続きました。信念あるやさしさに応ずる心づもりはあっても、どうすればそれが電話の向こうの相手に伝わるのかを自分自身に問い続けたのです。

それから10年が経過した1982年7月、英国ヨーク大学で開催されたIFOTES（国際緊急電話相談連盟）大会に参加した折、自殺防止運動ザ・サマリタンズ創始者チャド・ヴァラ氏の80歳を超えた最後の講演を拝聴する機会を得ました。「人生には楽天性」「相談員はクライアントに対して否定的にならないで」「心を集中して聴く友達になる」といった言葉が印象的で、信念あるやさしさが直接伝わってきました。チャド・ヴァラ氏は、1976年2月、関西いのちの電話にも来訪されていますが、同氏の言葉の数々は、相談を受け取る者の心づもりとして、その後の私の「聴き続ける

日々」の原動力となっていきました。

また同年、ドイツ、フランス、スイスの各相談機関も訪ねました。当時は、どこも決して立派な事務所ではなく、地味なビルの片隅の部屋といった現場でしたが、溢れる心の豊かさと人々へ真摯に向き合う姿に、市民運動の精神を見ることができ、日本で同様の活動に参加する者として“つながり”を深く感じたのを記憶しています。国際交流に参加させていただき、各国にも様々な課題があることがわかりましたが、同時に、信念あるやさしさの存在は、各国共通だと実感できたのです。

関西いのちの電話は、50周年を目指し、引き続き多くの善意あるボランティアで無償の奉仕活動を続けています。24時間・365日休まず相談を受け付けています。自殺への願望など精神的な危機にある人にこそ、信念あるやさしさの存在を知って欲しいのです。そして、電話をかけ、そのやさしさに触れて欲しいのです。そんな思いで電話を待つ相談員が世界各国にいます。できるだけ多くの方に知っていただきたいと思っています。

関西いのちの電話 相談電話 (24時間365日) ☎06-6309-1121
自殺予防いのちの電話 毎月10日 午前8:00～翌日午前8:00 ☎0120-783-556

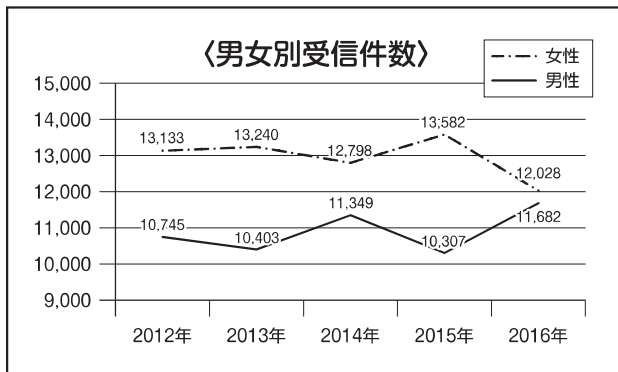
記録分析委員会からの報告

2016年の受信状況について

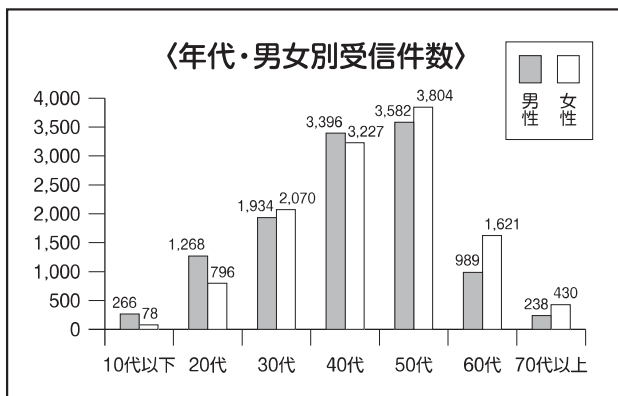
関西のうちの電話では、相談員が記録した受信記録カードをもとに、1年間の受信状況について分析を行っています。

2016年全体を通して

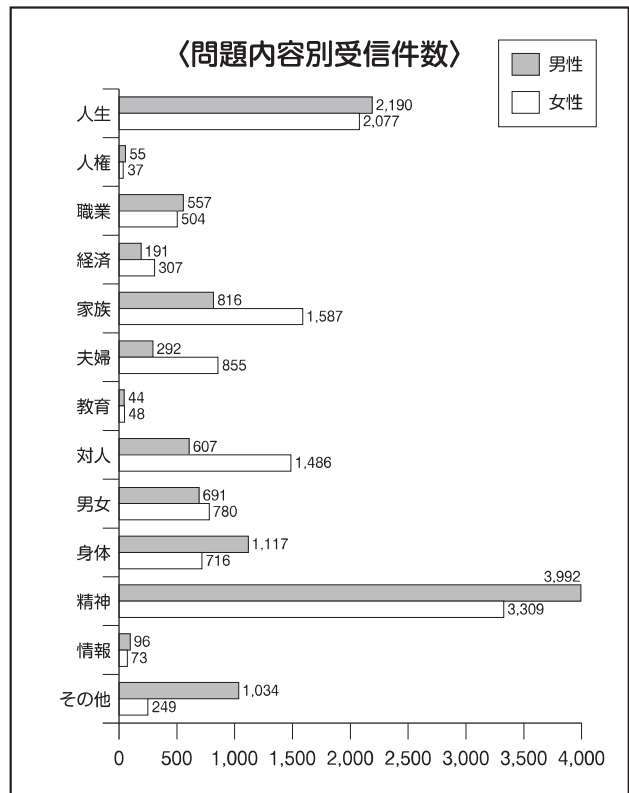
2016年1年間の総受信件数は23,710件。2010年以降、2014年の24,147件以外は23,000件台を推移。前年より約180件減少したとはいえ、月平均2,000件弱を受信し、月平均延べ510人の相談員がその相談を聴いています。かけ手の性別では、男性が全体の49%、女性が51%。女性が1,600件弱減少し、男性が1,400件弱増加し、男性比率が上がっています。また、精神の病を持っていると思われる人からの受信件数は16,073件、総受信件数の67.8%で前年より3.6%増加しています。



年代・男女別で受信件数を見ると、男女共に50代が最も多く、次に40代、30代という順になっています。前年と比較すると、女性は40代で776件（2016年：3,227件、2015年：4,003件）減少、50代で390件（2016年：3,804件、2015年：4,194件）減少したものの、順番に変化はありません。一方、男性は昨年40代、30代、50代という順番でしたが、50代がほぼ倍増となり順番が変わりました。50代男性は総受信件数の15%を占めています。



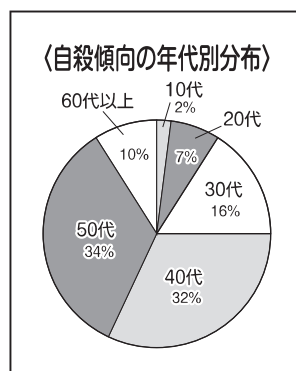
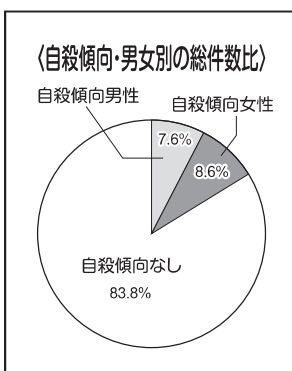
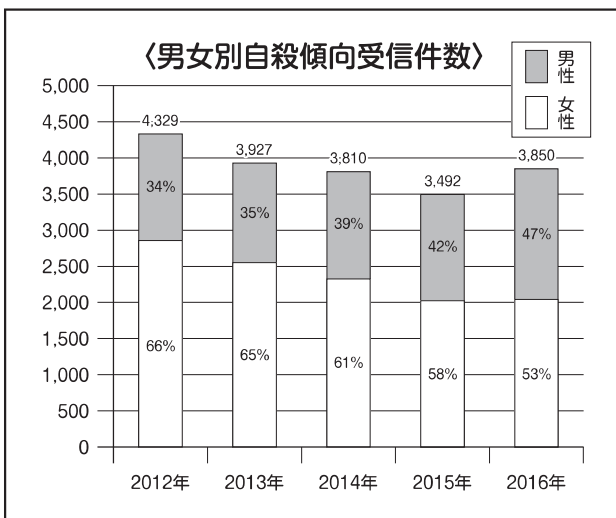
問題（相談）内容別では、精神の病の相談が最も多く7,301件で、特に男性で約1,400件増と前年の1.5倍となりました。うつ病や統合失調症に加え、嗜癖行動についての悩みも増加傾向となっています。2番目は男女ともに人生の問題で4,267件、特に男性では生き方についての悩みが前年より増えました。女性は精神の病と人生の悩みが前年よりも減少した半面、家族や対人関係についての悩みは依然多いという状況です。



前年から倍増した50代男性の未婚別で見ると、その8割を未婚の方が占めています。精神の病や人生に悩みを持つ方が多く見られますが、身体の不調を訴える人も多い状況です。働けないし家族も持てない、孤独で将来へ不安を抱き、繰り返し電話をかけ、何とか救いを求めようとする姿が伺われます。また、既婚の方は有職と無職が半々で、精神の病と人生の次が、家族や夫婦についての悩みになっています。精神疾患を抱えながら、家族のために社会の一員から振り落とされないように必死にもがき苦しんでいる姿が伺われます。

自殺傾向について

自殺傾向の相談電話の受信件数は3,850件、総受信件数の16%、ほぼ6人に1人が自殺を考えていることを示します。前年と比べると、男性が1,813件で約500件弱増加し、女性が2,037件で約100件の減で、全体では約400件増加しました。自殺傾向相談電話の年代別に占める割合は、50代が一番多く1,308件で34%、次に40代が32%、30代が16%という順です。受信総数に対する自殺傾向の割合で見ると、40代と50代が18%、30代が15%となっています。一方、10代は受信件数自体が少ないものの16%で、20代の14%と比較しても、相対的に自殺傾向が高いことがわかります。また、問題（相談）内容は「鬱」が最も多く24%、「鬱」「統合失調症」「その他の精神疾患」を合わせると39%）次に「生き方」11%、「孤独」9%でした。男女共に、精神を病み、世の中から孤立し、孤独と不安を感じ、「自分には生きる意味があるのだろうか」と多くの相談者が苦しんでいます。



自殺傾向の受信の内訳は、自殺をほのめかす「念慮」が92%、自殺をしそうな「危険」が7%、自殺の「予告や通告」が1%、「実行中」が0.3%です。ほとんどの人が「念慮」ですが、今まさに自殺をしようとしている人からの緊急度の高い電話も年に十数件あります。

増加する長い電話と何度もかけてくる相談者

ここ数年、通話時間の長い電話が増加しており、その傾向は2016年も続いています。2時間以上の電話は、総受信件数23,710件の内412件、その中でも3時間以上が51件で、その大半は女性です。全体の16%を占める自殺傾向の電話も、長い電話の中では31%と高いウエイトを占めています。平均受信時間は約35分で、一昨年の2014年と比較すると3分半長くなりました。対応できる相談員数も限られていることから、年間受信件数の減少に繋がっている可能性もあります。長くなる理由としては、内容的に切り上げにくいという聴き手側の問題もありますが、悩みが深く何度も同じ話をくり返したり、孤独から電話を引き延ばそうとするかけ手の応答がよく見受けられます。また、携帯電話の「かけ放題」や「リダイヤル」のサービスも、通話時間の長さや何度もかけてくることに影響しているとも考えられます。

前年より増加した50代、60代の中には、受信件数の多さが突出した何度もかけてくる相談者の存在がありました。特に50代男性の中には1年間で千回を超える人がいたことも、統計の数字に影響しているように推察しています。

ここ数年10代以下の受信件数が低くなっている要因は、この年代に対応する相談機関が増えてきたことに加え、「いのちの電話」に対する認知度の低さが一因にあげられます。さらに30代以下という年齢層では、受信件数が年々減少傾向にあります。これはインターネットのSNS等で孤独を解消する人が増えてきたという背景が考えられます。

一方、最近、大阪府以外の方からの電話が増加していることが見受けられます。電話の繋がりにくさから、手当たり次第に色々なセンターに電話をかけまくるとい人もいますが、関西弁の親しみやすさを求めて電話をかけてくるという声もよく聞きます。前述の通り、四六時中インターネットで不特定多数の他人と簡単に繋がれるようになった昨今でさえ、やはり人の声のぬくもりに救いを求め、電話をかけてくる人がまだまだいるということではないでしょうか。

あたたかいご支援ありがとうございます

2017年3月1日～2017年5月31日までに、次の方々から社会福祉法人関西いのちの電話への寄付をいただきました。心より感謝申し上げます。今後ともご支援、ご協力をお願い申し上げます。
(五十音順・敬称略)

【個人】

浅野 敏行	大塚 伸二	神谷 尚孝	佐野由紀子	田中 豊子	布施 敦道	吉村 幸三
荒川奈津江	大津 久直	岸本 彰五	幣原 直子	筒井久美子	松野 五郎	渡部 正勝
伊保ヒロ子	岡崎 信恵	北之坊皓司	島田 榮一	坪内 憲治	真野 和子	M・Y
石原 紘	小頭 誠	黒田 みつ	島田 恒	道免 逸子	三浦 直之	匿名 5名
今村 良子	岡本 勝	呉 美恵	笑福亭松枝	長尾 文雄	望月 拓郎	
入江たかよ	小川 弘二	小林 文子	菅谷 道子	中谷 治	森田 和典	
上坂 和美	荻野 豊子	小村 典子	杉浦真喜子	中村 勝吾	柳田 邦男	
宇野 義男	片山 巖	佐々木良子	隅田 保	馬場美代子	山口 健一	
大久保萬里子	加藤 昌子	佐治美知子	高尾 有	平栗 勲	山田 孝彦	
大塚 昭男	金岡 重雄	左藤 章	竹村 武男	藤原 正巳	山田 道雄	

【団体】

愛徳カルメル修道会 垂水修道院	柏原ライオンズクラブ	聖ヨゼフ宣教修道女会 箕面修道院
一般財団法人青木奨学財団	川田メンタルクリニック	ソウルスター株式会社
NTT西日本関西カンパニー	河電産業株式会社	中村医院メンタルクリニック
大阪Ⅱソソクラブ	京谷クリニック	日本基督教団 千里丘教会
大阪信愛修道院	コニシ株式会社	日本冷熱工業株式会社
大阪聖母女学院中学校・高等学校	JR西日本あんしん社会財団	姫路聖マリア病院
大阪帝塚山ライオンズクラブ	塩野義製菓株式会社	融通念佛宗 法蔵寺
大阪ひこばし法律事務所	親切会	前久保クリニック
大阪YMCA	菅原天満幼稚園	正岡クリニック

●他に相談員63名と、理事、評議員が支えています。

こんなこともやりました！ありました！

2017年4月～6月の活動の一部をご紹介します。

- ・ 4月11日 大阪府共同募金会配分金交付式出席
- ・ 4月26日 大阪帝塚山ロータリークラブ例会にて助成事業報告
- ・ 5月16日 日本経済新聞に記事掲載
- ・ 5月22日 監事による2016年度決算監査
- ・ 5月23日 鯖江こころの電話相談員(22名)が来所、長尾文雄氏講義を受講
- ・ 5月26日～27日 日本いのちの電話連盟総会、事務局長会議に出席(東京)
- ・ 5月29日 2017年度第1回理事会
- ・ 6月7日 大阪国際大学守口キャンパスにて講演(2コマ)
- ・ 6月13日 2017年度第1回評議員会
- ・ 6月16日 大阪YMCA学院高校「共生社会」講義
- ・ 6月19日 2017年度第2回理事会
- ・ 6月23日 大阪YMCA学院高校「共生社会」講義
- ・ 6月28日 社会福祉法人博愛社「清心館」竣工式出席

夏期募金をお願いします

24時間・365日「眠らぬダイヤル」として相談活動をおこなっています。皆さまのご支援が、電話をつなぎ「いのち」をつなげます。いのちの電話の活動を支えてください。

お振込先 ※社会福祉法人へのご寄付は税制上優遇されます。

口座名義：社会福祉法人関西いのちの電話

口座番号：ゆうちょ銀行 00990-3-68480

：三井住友銀行 十三支店(普) 998829

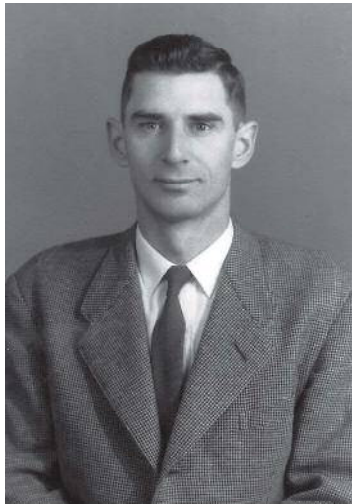
2016年度 財務報告

資金収支計算書

(単位：円)

勘 定 科 目		決 算
事業活動による収支	収入	
	事業収入	6,076,305
	経常経費補助金収入	2,540,000
	経常経費寄附金収入	8,369,333
	雑収入	2,277,497
	受取利息配当金収入	4,412
	経常収入計(1)	19,267,547
	支出	
	人件費支出	7,162,642
	事業費支出	4,324,214
事務費支出	7,343,969	
経常支出計(2)	18,830,825	
	事業活動資金収支差額(3)	436,722
施設整備等による収支	収入	
	施設整備等寄附金収入	0
	施設整備等収入計(4)	0
	支出	
	施設整備等支出	0
施設整備等支出計(5)	0	
	施設整備等資金収支差額(6)	0
その他の活動による収支	収入	
	積立金取崩収入	0
	その他の活動収入計(7)	0
	支出	
	積立金支出	0
その他の活動支出計(8)	0	
	その他の活動資金収支差額(9)	0
	当期資金収支差額合計(10)	436,722
	前期末支払資金残高(11)	0
	当期末支払資金残高(12)	436,722

エルダーものがたり VI ～牧師をしながらの大学生活～



牧師をしていた大学時代

言った。既に上級生二人が似たようなことをやっていた。彼らとは年の差があったが私は引き受けた。

最初の日曜日、不安を感じながら、二時間半バスに乗って、町に早く着いた。バスを降りて教会に向かって坂道を上る途中、上から来た一人の女性が私の前に立ち止まって、黙って頭の前から爪先まで私をじっと見て、「新しい牧師ですか」と聞いた。私は「そうです」と返事したら、また私をゆっくり見て、「若いね」と吐き捨てるように言って、立ち去った。私は動揺したが、不思議な決意を感じた。「牧師をすることを引き受けた以上、やる！」と。それから三年間、卒業するまで、その町の教会の牧師を務めた。私より人生経験のある人々に説教したり、家庭訪問をしたり、私と同じ様な年齢の青年達を指導したりして、いい関係が出来た。

数ヶ月したある日、農民風の男に、「この新しい牧師か」と聞かれたので、私は迷わずに「はい」と答えた。彼は「私の家の近くにあなたの教会の集会場がある」と言ったので私はびっくりした。「もう何年も使っていないが、見に行きませんか」と。早速行ってみたら畑と森に囲まれて、40人ぐらい入る集会場があった。ピアノを見て、「何とか鳴るようにできると思う、集会に人が来ると思いませんか」と聞いたら、「やって欲しい」と言った。

その翌日、私は道具が入っている袋を提げて、ヒッチハイクで行った。乗せてくれた人に、「集会を始める」と言ったら、不思議そうな顔をして、頷いた。情報は流れると感じた。

夏の暑い日、ピアノの中に居た蜂の巣と虫を掃除して、油をさして、ペンチで少し調節して、何とかいけると思った。

そして日を決めて、南部の習慣である、連続五日間

大学時代の勉強や学生生活の他にもう一つ大きい大事なことがあった。

ヘンドリクス大学に入って、教会の教区総会で私は牧師コースと承認された。二年目になって、教区議長が17歳の私に、「大学の勉強をしながら、ある田舎の教会の牧師になって欲しい」と

の「レバイブル」をすると情報を流した。夜ごとに人が増えて、最後には一杯になった。それから毎日曜日、朝8:45から礼拝すると伝えた。最初の日曜日に沢山人が集まったし、蜂さんも復讐しに来た。讃美歌を歌っていた時、彼は私の首の後ろを刺した。痛かったが心の中で笑った。「ごめんね、巣を壊して」

それから毎週、町の教会の若い男は車で私を送って、10:30の町の教会の礼拝に間に合うように戻った。天気の良い日は良かったが大きい雨が降ると集会場まで車が通れない。地元の人々はトラックやトラクター、馬車や馬で来たが私達は長靴に履き替えて最後の500メートルぐらい歩いた。泥の中を一緒に歩いた私達には暖かい親密感があった。そういう日は、帰りに車を置いたところまで送って貰った。冬には誰かが早めに行き、薪ストーブを炊いてくれ、和やかな雰囲気だった。ピアノは完全な調律ではなかったが皆快く歌って、感じのいい礼拝ができた。

午後は、町で家庭訪問をして、夕方の青年会と夜の集会もあったので、日曜日の夜12時ごろ大学の町のターミナルに着いて、疲れていた。しかし満足感を味わいながら20分ぐらい寮まで歩いた。雨の日は、大学の守衛の男は私のために用事を作ってくれて、ターミナルあたりにおいて、乗せてくれた。私は本当に大事にされていると思った。

大学の勉強以外のこの三年間は、暖かい人達から沢山の人生勉強をさせて貰えたと心から感謝している。

卒業する時は、名残惜しい気持ちで一杯だったが、ダラスにある南メソジスト大学の神学大学院へと向かった。

※注：「レバイブル」とは、夜間に連続5日間集会をするという南部の夏の習慣。

ウィリアム・エルダー (William Elder)

1926年生まれ。1948年宣教師としてアメリカから来日、以来68年間日本在住。1973年東京英語いのちの電話(TELL)設立時の研修に関わり、1980年に関西いのちの電話の研修担当として相談員の育成に尽力し、現在もグループリーダー、スーパーバイザー、養成講座講師など関西いのちの電話の重鎮である。



2017年3月「祝賀会」にて

指導における温かい視点、そのわかりやすさには定評があるが、何より人間性の豊かさ、懐の深さに感銘を受けることが多い。大阪女学院短期大学名誉教授。



問いかけることと共感 5 「カウンセリング的な対話」

私たちの電話活動の目的は、『孤独の中であって、悩み苦しんでいる一人一人に対して、「電話」という手段を用いて、カウンセリング的な対話することによって、よい隣人としての適切な援助を与えることが主な目的です。』と明示されています。

この目的には、いくつかのキーワードが含まれていますが、「カウンセリング的な対話」ってどのような対話なのでしょう。

カウンセリングは広義には、社会・経済・生活の各分野（法律・就職・結婚・DVなど）における種々の専門的相談援助行為を指します。いのちの電話でのカウンセリングは、精神的心理的な相談活動に属し、臨床心理学の影響を多く受けています。

このカウンセリングは、アドバイスではなく、相談者に対して解決策を提示することを原則としません。相談の場で、相談者が自分に向き合い、その作業を通じて自らで自己理解を深め、捉え直し、受容

して相談の後には、相談者自身が現実の生活で、問題や悩みに向き合い、主体的に対応して行けるように支援することが、カウンセリングの目的です。

では、次の「対話」とは、会話での単なる情報のやりとりではなく、話し手と聴き手が理解を深めながら、互いに共感や意識・行動の変化を引き出し合う創造的なコミュニケーションのあり方を指します。対話では、話し手と聴き手の関係は対等で、お互いを理解しようという姿勢を大切にします。

しかし、電話相談ですぐにそのような対等な関係は築けません。そこで、聴き手がまず、謙虚に問いかけるのです。心の中で、「あなたに関心があります」という強い思いを持って、「あなたの今の気持ちを聞かせてください。どのように困っておられるのかを教えてください。いかがでしょうか」と問いかけるのです。

電話相談の実践の中で、「カウンセリング的な対話」を問い直してみたいかがでしょうか。

【参考：『ダイアローグ 対話する組織』 中原淳・長岡健 共著、ダイヤモンド社】

（長尾文雄・元大阪女学院大学/短大講師）

バザーのお知らせ

日時
11月4日(土) 10時から
場所
聖蹟主教会及び中庭



関西いのちの電話創立44周年記念バザーを開催します。バザー委員会では、たくさんの方に来ていただき、楽しんでいただけるバザーにしたいと思っています。

関西いのちの電話
第22回
チャリティコンサート

関西学院大学グリークラブコンサート KWANSEI GAKUIN GLEE CLUB

日時 2017年8月25日(金)
開演/19:00 (開場/18:00)

約100人のフルメンバーで出演!

会場 いずみホール

大阪市中央区城見1-4-70 JR大阪環状線 大阪城公園駅より徒歩3分

●前売/2,500円 (当日/3,000円)

◆チケットの取り扱い 関西いのちの電話事務局
電話：06-6308-6868 FAX：06-6308-6180
E-mail：kaind@age.ac



この広報誌は、平成28年12月に実施されたNHK歳末たすけあい配分金を受けて作成したものです。府民(寄付者)のみなさまに感謝いたします。

編集後記

7月号は例年通り「受信状況」の報告記事。総受信件数に顕著な変化は無いが、女性が減り男性が増加との報告。その結果が単年度の特異なものか、複数年度に亘る傾向と見るか。

巻頭記事の著者は「信念あるやさしさ」を、かけ手にどうすれば伝わるのかを問い続けたと記す。連載記事「問いかけることと共感」には、かけ手と聴き手の対等な関係での相互理解を求める姿勢が大切と記述。

「やさしさ」を伝えることが不得手、同性の相手に無意識に優劣を感じる人が多い筆者自身、男性のかけ手が増え続ける状況では、「やさしさ」と「謙虚さ」をより意識して、心して聴き続けなければと自省。
(H.S.)

電話相談受信状況(2017年)

受信月	3月	4月	5月
受信件数	2,013件	2,026件	2,056件
相談員数(延)	524人	505人	533人

社会福祉法人 関西いのちの電話

事務局：〒532-0028 大阪市淀川区十三元今里3-1-72
TEL 06-6308-6868 FAX 06-6308-6180

発行人：李 清一 編集：広報委員会

ホームページ <http://www.kaindnew.com>